令和４年度 （秦野養護学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 項目・目標別実施結果

項　　目	目　　標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底）	・公務外非行の防止徹底 ・円滑なコミュニケーションの実施	・職員行動指針ハンドブックを活用して、服務規律の周知・徹底を図った。 ・例月の自己チェックを実施し、教育公務員としての高い倫理観について意識を高めることができた。 ・若年層及び臨任の個別面談を実施し、不祥事防止リーフレットを活用した支援に取組んだ。 ・情報機器の活用でコミュニケーションの円滑化を図り、ストレスをためない職場環境改善ができた。
児童・生徒へのわいせつ・セクハラ行為の防止	・人権侵害行為の未然防止 ・適切な指導の徹底	・具体的な講義や職場討議を実施し、自分事としてわいせつ・セクハラ行為の根絶意識を持つことができた。 ・啓発資料の周知や例月の自己チェックを実施し、わいせつ・セクハラに関する意識が向上した。 ・教室等の密室化防止のための環境整備及び定期的な巡視を実施した。 ・児童生徒への丁寧で適切な関わりのスタンダードの活用と改善を進め、人権意識を高めた。
体罰、不適切な指導の防止	・児童生徒の実態をおさえた、体罰によらない適切な指導の徹底 ・児童生徒の人権を尊重した指導の実施	・人権尊重の基本的な姿勢として、「あいさつ」「さん付け呼称」の励行を徹底した。 ・授業や指導場面を公開し、ICT機器の活用を推進し、職員間で互いに見合う機会が増加した。 ・児童生徒への丁寧で適切な関わりを研修を通して考えることにより人権意識を高めることができた。
入学者選抜、成績処理、進路関係等の不適切な事務処理の防止及び個人情報等の管理、セキュリティ意識の徹底	・確実な業務遂行の実施 ・個人情報に関係する事故の防止	・マニュアル等を活用し、複数でのチェックによる確実な取扱いに留意した。 ・部門課程特有の個人情報の取扱いに関するルールの徹底、個人情報管理の徹底を図った。 ・ヒヤリハット事例を学校全体で共有し、相互に注意喚起を促す体制ができた。 ・日頃の机上整理を例月チェックにより適時意識付けを行い、誤廃棄、紛失を防止した。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	・酒気帯び運転および飲酒運転防止、交通事故防止、交通法規遵守	・啓発資料や自己チェックの実施により安全運転への意識向上を図った。 ・全体打ち合わせの際に即時的な周知等により、安全運転、交通法規遵守の意識向上を図った。
会計事務等の適正執行	・公費及び私費会計の適正な執行・管理 ・備品等の適正な管理	・研修会を実施し、私費会計基準及び書式の改善を含む私費会計マニュアルの周知徹底を図った。 ・私費会計基準に基づく適正執行、ダブルチェックによる適正な管理、処理を推進した。
職場のハラスメントの防止	・パワハラ、セクハラ、マタハラをはじめとするハラスメントの未然防止	・啓発資料の周知や自己チェックを実施した。 ・管理職による個別面談、チーム内での情報共有等を実施し、相談により未然防止ができた。 ・同僚性を醸成し、ハラスメントのない、気持ちよく働ける職場環境づくりができた。

○　令和４年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和５年度に取り組むべき課題（学校長意見）

職員一人ひとりが教育公務員としての立場や行動のあり方、より高い倫理観を意識して不祥事ゼロプログラムに取り組んだ。

特に夏季に実施した不祥事ゼロプラグラム研修は、総括教諭が不祥事・事項防止を「自分事として考える」研修にするためにアイディアを出しあった。結果としてそれぞれが自らのヒヤリハット体験、インシデント体験を部門課程を取り払ったグループ編成で披露しあう形で実施した。

結果として、それぞれの体験を我が事として実感することができ、そのための防止策もそれぞれのグループから活発に提案され、大きな成果を上げた。

こうした研修にとどまらず、教職員が不祥事防止に対して主体的に取り組めるようにテーマに対して部門課程ごとに討議し、課題や成果を不祥事防止会議で発表して全校で共有することを継続して取組み、不祥事防止の意識を高くもって日々の活動に臨めていたと感じる。

４つの教育の場という本校の職場環境を踏まえつつ、引き続き教職員が自分事として考えられるように取組を継続、発展させ、不祥事防止に取り組みたい。